IPM NEWS

No.84 2025年11月1日 秋号



インドネシア視察 マハサラスワティ大学にて

TOPICS

ピックアップ実習生 日本語スピーチコンテストの開催 JITCO作文コンクールにて優良賞受賞 IPM作文コンクール 結果発表! 8月から10月までの主な財団活動



ピックアップ実習生

株式会社JR東日本環境アクセス

実習生が交流しやすい現場づくりと 「当事者参画型」の教育



株式会社JR東日本環境アクセスでは、インドネシアの実習生が一日も早く現場に慣れ、活躍してもらおうと、さまざまな取り組みが行われています。

東京事業所では実習生のプロフィールと顔写真を掲示し、プロフィールに記載された話題を通した**自然なコミュニケーションが生まれるような取り組み**を行いました。2年目からは本人の名前の漢字表記を事業所がサポートしながら考え、掲示



されるようになりました。人数が多い中でも、すぐに名前を覚えられ、現場になじむことができました。

池袋事業所ではOJT教育で工夫した取り組みが行われました。過去に海外からのパート 社員へのOJT教育で言語の壁に直面した経験がありました。それを踏まえ、実習生の受け 入れに際して、既存のマニュアルをより事業所の作業内容に即した内容へブラッシュアップを 図りつつ、インドネシア語への翻訳に取り組むことにしました。

ブラッシュアップに際しては日本人社員が自分達の作業について振り返り、注意点やワンポイントアドバイスを盛り込みました。また、翻訳作業では、同社のインドネシア人社員が翻訳を手伝い、その後**実習生自身が添削を行う「当事者参画型」のプロセスを採用**しました。資機材名や洗剤名の直訳では理解がしづらく、「伝える」ことを重視した意訳といった工夫を重ねることで、「理解しやすい」教育資料が完成しました。

この取り組みによって日本での清掃業務の経験がない実習生でも 理解しやすい教育資料が整備され、習熟度を高めることができました。

また、各現場での教育をベースに本社での集合研修も適宜行われていて、会社の培ってきた清掃ノウハウが実習生に継承されています。 その成果として、基礎級の技能検定に無事全員合格することができ、 技能実習2号へのステップアップを図ることが出来ました。

その他にも会社として、スキー研修などのレクを企画実施し、公私共に実習生と距離を縮める取り組みがなされています。





株式会社JR東日本環境アクセス HP: https://www.jea.co.jp/



JR東日本グループの一員として駅・列車・ビル・ホテルなどの清掃、設備管理、警備保安、廃棄物収集・リサイクル事業を展開し、快適で安全な環境づくりに貢献している。 インドネシア技能実習生の受入を行っている。

日本語スピーチコンテストの開催



株式会社武蔵野では 京都工場の主催で、特 定技能外国人による日 本語スピーチコンテストが 開催されました。

10名が登壇し、70名 の観客に対して「日本と

母国の違い」をテーマにスピーチを行いました。観客には工場関係者だけでなく、京都工場がある八幡市の地域団体も参加しました。

スピーチにはパワーポイントやビデオが使用され、発表者の創意工夫が見られました。いずれの発表も、日々の仕事や日本での生活を通して学んだことを自分の言葉で堂々と発表し、聴く人々の心に深く響くものでした。

終始、会場は笑顔と熱気にあふれ、外国人材が地域社会に温かく受け入れられていることを改めて感じました。発表者にとっては、日本語に対する自信が大きく高まりました。

同社では約400名の外国人を対象に、3カ月に1回の定期 アンケートを実施しています。要望の中では、スピーチコンテスト の開催を希望する声が多く寄せられていました。

外国人の意見を反映させることで、外国人材が生き生きと働ける環境づくりに取り組んでいます。



発表者のうち、3名が最優秀賞・優秀賞・第3位の賞を受賞しました。

株式会社武蔵野

https://www.ms-net.co.jp/



弁当・おにぎり・寿司・調理パン・調理麺等の製造および販売のほか、 スポーツレジャー施設の運営、管理を展開している。

JITCO作文コンクールにて優良賞受賞

天生水産株式会社のバイ・ラムダニ さんがJITCO作文コンクールで優良賞 を受賞しました。

本人に作文を書いたときの気持ちや 受賞した感想をお聞きしました。



しました。家族や友人、会社の人が「おめでとう!」と祝ってくれた ことが嬉しかったです。

今後は何を勉強していきたいですか

もっと上の賞を取りたいと思いました。そのためにも、たくさんの本を読み、もっと語彙を増やし、自分の気持ちを表現できるようになりたいです。



作文を書いているとき、どんな気持ちでしたか

作文を書くとき、緊張していました。どんな内容にすればいいのできるようになりたいです。 か分からず、書き出せませんでした。

ですが、自分の気持ちに素直になればいいと思い、少しずつペンを動かしました。書き始めると、どんどん楽しくなってきました。ときどき文法の間違いが気になりましたが、家族のことを思い出し、当時感じたことをありのままに書きました。

受賞したときは驚きましたか

とてもびっくりしました。何度も書き直した努力が報われた気が

天生水産株式会社

https://www.tenseisuisan.com/



新鮮な魚を使い、冷凍食品製造、塩干・チルド商品製造、鮮魚仲買・養殖、魚介類藻類エキス製造、調味料等製造、健康補助食品製造をてがける。

IPM作文コンクール 結果発表!

最優秀賞

エム アラマキ ヌル アラム M ALMAKI NUR ALAM(天生水産株式会社)

[G]

優秀賞

グエン ヴァン ブット NGUYEN VAN BUT(株式会社武蔵野(埼玉工場))

「日本での最初のレッスン」

努力賞

リ ケンゴウ 李 健豪 (株式会社ワイテック)

「流言は智者に止まる」

第34回目を迎えたIPM作文コンクールには、沢山のご応募ありました。ご応募していただいた実習生の皆様ありがとうございました。

どの作文にも、自分の気持ちを伝えたいという思いがよく表れていました。日本語の表現にも一つひとつ工夫があり、よく考え抜いて書かれたことが伝わってきました。

これからも皆様には日本語学習に対して前向きに取り組んでいただくとともに、日本での生活が実りあるものとなりますよう、切に願っております。

受賞者による受賞コメントは次号掲載いたします

8月から10月までの主な財団活動

8月30日~9月4日 埼玉老人福祉を考える会とのインドネシア視察

9月25日 株式会社武蔵野京都工場主催の日本語スピーチコンテストに協力

- ・タイへの介護ベッド寄贈プロジェクトに協力
- ・2026年度のJARTSプログラム(一般社団法人海外鉄道技術協力協会による特定技能外国人育成プログラム)にIPMも協力参画

発行:公益財団法人国際労務管理財団 (IPM)

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F TEL: 03-3354-4841(代) FAX: 03-3354-4847

http://www.ipm.or.jp/





5-8724
3-9251
5-5692
3-7444
l-3138
3-2555